

授業の具体的展開例

話し合いによる集団解決

T：それでは、〇〇さんから。

C：まずここに補助線を引いて、 180° で、こ
こもはかって 40° で $180^\circ + 40^\circ$ で 220° に
なりました。

T：〇〇さんと同じ考え方だった人、何人ぐら
いますか。

では、次、〇〇さん

C：はじめ、一周が 360° で反対の角をはかっ
たら 140° となって、よぶんな分が 140° だ
から $360^\circ - 140^\circ$ で 220° になりました。

T：〇〇さんと同じ考えの人は手を挙げて。

では、次、〇〇君。

C：ここに補助線を2本引いて、ここまでが
 180° で $90^\circ + 90^\circ$ で 180° になって $180^\circ +$
 40° で 220° です。

T：〇〇君と同じ考えの人は手を挙げて。

では、次、〇〇さんお願いします。

C： 270° の線を引いて 270° の線からここま
での線をはかったら、 50° だったので $270^\circ -$
 50° で 220° です。

T：では、先生が分かりやすいようにまとめま
す。〇〇さんは、 180° というのを使ってい
ますね。 180° のところに補助線を引いて、
残りの角を足すんですね。〇〇さんのは、一
周は 360° ですね。いらぬ角を引くんです
ね。一周から余分な角を引けばいいね。

(省略)

くわしい授業
展開はこちら

CLICK

教材・教具

児童の分度器を拡大した物を！！



CLICK

「活用」の力を育てる評価の工夫

本時は、この単元の8時間目である。それ
までの時間で学習してきた内容を活用して
 180° 以上の角の大きさをはかるため、特に児
童が自力で思考する時間、グループでの意見
交流の時間を確保することが必要である。自
力解決の場面では、児童の解決法を見取り、
1つの解決法が考えられた児童には2つ目に
挑戦するように助言する。

グループ交流の時間は、考えられている児
童には他の友達に自分の考え方が分かりやす
く伝わるように、考えられていない児童には
友達の意見を聞いて答えがもてるように、そ
れぞれの立場から大切に扱う時間としていき
たい。

「活用」の力を育てる評価の視点

本時においては、速く正確に求める方法と
して「 $180^\circ + 40^\circ$ 」(考え方1)と「 360°
 $- 140^\circ$ 」(考え方2)の2つの解き方が考え
られる。また、はかり方に気付くだけでなく、
相手によく分かるように表現する力を伸
ばしたい。

「活用」の力を見取る具体的な分類とし
ては、以下の4つが考えられる。

- ① 考え方1か考え方2のどちらにも気付
き説明することができる。
- ② 考え方1か考え方2のどちらかに気付
き説明することができる。
- ③ どちらも気付いていなかったが、説明
を聞き理解することができる。
- ④ どちらの考え方も理解できない。

④の状態の児童には、十分な個別指導が必
要である。次時までには②の状態になるよう
に後半の話し合いや適用問題の場面を充実させ
る。

さらに、学習のまとめでは、算数日記を書
くことを通して授業で大切なことを自分の言
葉でまとめることで、「活用」の力を育成す
る。

評価問題

CLICK

HOME

本時の流れへ